

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2014年6月12日～6月18日)

平成 26 年(2014 年)6 月 20 日

H E A D L I N E S

政治

フプロスト誌の盗聴記事が政界に衝撃
 オミラノフスカ氏が新文化・国家遺産相に就任
 ポーランド外務省が在ドネツク総領事館を一時閉鎖
 トウスク首相がファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長及びバローゾ欧州委員長と電話会談
 コモロフスキ大統領がハンガリー訪問

経済

OFE に留まるのは 60 万人程度
 消費者物価指数が引き続き低下
 5 月の平均賃金上昇率は 4.8%
 ポーランドの自動車登録台数が欧州平均以上に達する
 Grupa Azoty 社の売却動向
 Asseco 社がカザフスタン企業を買収
 ポーランド最高検査院が2016年以降の停電の可能性を警告
 KW社による財務状況回復に向けた動き
 Gaz-System 社が欧州投資銀行から融資を受ける
 PGNiG 社, ロシアからのガス供給は問題ないとの見解

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)
 大使館広報文化センターの開館時間延長について
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の

政	治
内	政

フプロスト誌の盗聴記事が政界に衝撃【16日】

16日付フプロスト誌は、シェンキエヴィチ内相とベルカ中央銀行総裁、ノヴァク元運輸・建設・海上経済相とパラフィアノヴィチ元財務副相の市内レストランにおける会話の盗聴記事を掲載した。シェンキエヴィチ内相とベルカ中銀総裁の会話記録は、中央銀行による財政赤字補填とその見返りとしての当時のロストフスキ財務相の交代に関するやり取り等であり、ノヴァク元運輸・建設・海上経済相とパラフィアノヴィチ元財務副相との会話はノヴァク夫人に対する会計監査を行わないための働きかけに関するものであった。同日、トウスク首相は特別記者会見を行い、本件盗聴事件は違法行為による政府攻撃である旨述べると共に、本件を理由にシェンキエヴィチ内相の解任は行わない旨述べ

た。一方、野党各党は本件記事内容を問題視し、最大野党「法と正義」(PiS)はトウスク首相が辞任しない場合に内閣不信任案を提出する方針を発表した。本件盗聴事件を巡っては、コモロフスキ大統領もトウスク首相、ベルカ中銀総裁等と意見交換を行っており、ポーランド政界全体を揺るがす事件となっている。

オミラノフスカ氏が新文化・国家遺産相に就任【17日】

17日、コモロフスキ大統領は、これまで文化・国家遺産次官を務めてきたオミラノフスカ氏を文化・国家遺産相に任命した。本件人事は、ズドロイエフスキ前文化・国家遺産相の欧州議員転出に伴って行われたもの。

外	交
---	---

ポーランド外務省が在ドネツク総領事館を一時閉鎖【12日】

12日、ポーランド外務省は、ウクライナ東部のドネツク及びルハンスク等の治安情勢の更なる悪化の可能性を考慮して、在ドネツク総領事館を一時閉鎖する決定を行った。同総領事館の業務は在ハルキフ総領事館が代行する。

会常任議長及びバローゾ欧州委員長と電話会談を行い、6月26日-27日の欧州理事会、新欧州委員長の選出、ウクライナ情勢及び対露関係につき意見交換した。

トウスク首相がファン＝ロンパイ欧州理事会常任議長及びバローゾ欧州委員長と電話会談【13日】

13日、トウスク首相は、ファン＝ロンパイ欧州理事

コモロフスキ大統領がハンガリー訪問【16日】

16日、コモロフスキ大統領はハンガリーを訪問し、1956年のハンガリー動乱時のナジ・イムレ元首相の再埋葬25周年記念式典にV4(ヴィシエグラード4カ国)及び独の大統領と共に出席した。

経	済
---	---

経済・財政政策

OFEに留まるのは60万人程度【12日】

4月1日以来、公開年金基金(OFE)への拠出を継続すると申請したポーランド人は、225,665人となっており、今後7月末の期限までに1日1万人

が残留申請をしたとしても、OFEに留まるのは、60万人程度と見られている。この数値は全体の3.5%に過ぎない。

マクロ経済動向・統計

消費者物価指数が引き続き低下【16日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の消費者物価指数(CPI)は、前年同月比0.2%の上昇に止まり、前月比では0.1%低下した。この数値は専門家の予想より低く、食料品価格が0.5%低下したことが影響していると見られている。また、コア・インフレ率は前年同月比で前月と同水準の0.8%の上昇、前月比では前月の0.3%上昇に対し、0.0%と変わらずであった。

5月の平均賃金上昇率は4.8%【17日】

中央統計局(GUS)によれば、5月の平均賃金は、前年同月比4.8%増加、前月比2.5%減となる3,878.31ズロチであった。また、雇用者数は5,514,700人で、前年同月比0.7%増、前月比では同水準であった。

ポーランド産業動向

ポーランドの自動車登録台数が欧州平均以上に達する【12日】

調査機関の報告によると、2013年のポーランドにおける1,000人当たりの自動車登録台数が653台に達した。これは、EU平均の484台を上回っており、別のデータでは、2013年の登録台数は251億台となっている。しかしながら、これらのデータにはすでに廃車もしくは部品を取り出し分解されてしまったものも含まれている。ポーランド国内の車齢については、2013年現在で平均で17.3年に達するというデータがある。

Grupa Azoty 社の売却動向【12日、13日】

ロシアの Acron 社がポーランド最大の化学グループである Grupa Azoty 社の保有株式を20%まで増やすという報道を踏まえ、国有財産省は、Grupa Azoty 社がポーランド経済にとって戦略的な企業で

あることに鑑み、同省の保有する株式を売却する意思がない旨の声明を発表した。Acro 社は、株式の保有比率を高め、同社の経営権を取りたいとも述べている。なお、Grupa Azoty 社のCEOには、賛否同数になった場合に議決を決定するための投票権 (tie-breaking) を保有している。

Asseco 社がカザフスタン企業を買収【18日】

ASSECO 社(銀行や金融を中心とするITサービスを提供する国内最大手の企業)は、カザフスタンの New Technologies Integrator 社を100万ドルで買収した。New Technologies Integrator 社はカザフスタン国内の公共部門におけるITソリューションを提供することに特化した企業であったが、ASSECO 社はそれに加え、民間部門への参入も計画している。

エネルギー・環境

ポーランド最高検査院が2016年以降の停電の可能性を警告【12日】

ポーランド最高検査院(NIK)は、2015年以降、電力不足に見舞われる可能性に備える必要があるとの警告を発している。同庁によれば、改修が必要な多くの老朽発電所は閉鎖される必要があるとしている。同検査院は、新規インフラ導入のための土地開発を容易にする、送電回廊(transmission corridor)の整備に関する法案作成の促進を内閣に提言している。経済省は、2013年に内閣の常設委員会(SKRM)に対し、国内送電グリッドの拡張・改修について、スケジュールが遅れていると報告している。

KW社による財務状況回復に向けた動き【12日、16日】

コンパニア・ヴェングロヴァ(KW)社は、急激な石炭価格の下落による収益の悪化に直面している。同社のタラスCEOは、12日のプレスとの会談で2013年に約700万ズロチの損失を計上し、2014年の第一四半期にも約80万ズロチの損失を計上していることに触れ、同社の財務状況が深刻な状況にあることを認めた。同社は、財政の破綻を回避するため、出資の多様化を進めており、その一環として国際的な投資銀行とコミュニケーションを開始したほか、債券保有者とも交渉を始めている。

Gaz-System 社が欧州投資銀行から融資を受ける【18日】

欧州投資銀行(EIB)は、Gaz-System 社に対し4.1億ズロチの融資を行ったと発表した。当該融資は、ポーランド西側のパイプライン建設に使用される。EUの南北ガス回廊整備の一環としてルヴヴェックからオドラヌフを結ぶ全長170キロメートルのパイプライン建設が予定されており、このプロジェクトは、総額5億ズロチ程度の建設コストが見込まれている。建設は、2017年までに完了させることとなっている。

PGNiG 社、ロシアからのガス供給は問題ないとの見解【18日】

PGNiG 社のスポークスマンは、ロシアによるウクライナへのガス供給停止がポーランドに与える影響はないとの見解を示している。ウクライナ問題を受け、同社ではガス供給を監視する特別対応チームが組織されている。緊急事態に際し、PGNiG社は露ガスプロム社に対しベラルーシを経由してガスを供給するよう要請ができる。また、PGNiG社は、「東側」ではない方面からの供給を増やすことについても考えている。ガス供給危機が起こった場合、現在約18億立方メートルある、それらガスを利用することになる。ガス消費の制限を設けることは最終手段と考えられている。

大使館からのお知らせ

教科書配布開始のお知らせ(平成26年度前期分)

現在、当館ホームページ上(<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/kyoukasho26.pdf>)にて、平成26年度前期分の教科書配布をご案内しております。対象年齢のお子様がいいらっしゃる場合には無料で教科書を配布しております。受け取りを希望される場合には、その受取方法等をご確認いただければ幸いです。

大使館広報文化センターの開館時間延長について

毎週月曜日の開館時間を19時まで延長しています。火曜日から金曜日までは、従来通り9時から17時までご利用いただけます。

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00, Eメール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成27年3月31日(火)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

<http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin.j.htm>

文化行事・大使館関連行事**【開催中】日本のフレーム写真コンテスト【5月10日(土)～8月31日(日)】**

ラッキーマンデー社主催による『日本のフレーム写真コンテスト』が開催中です。また、9月26日からクラクフ市にて日本美術技術博物館 Manggha との共催による『日本の最新技術における専門家フォーラム』が予定されています。

詳細: www.japonskiekadry.pl

【開催中】文化ポスター展【6月5日(木)～8月31日(日)】

ワルシャワにて、ワジェンキ宮殿博物館主催で、日本と中国のグラフィックデザイナーによる作品展『文化ポスター展』がオープンエアギャラリーで開催されています。日本からは U.G.サトー氏の作品が展示されています。

開催場所: ワルシャワ, ワジェンキ宮殿博物館, ul. Agrykoli 1

詳細: <http://www.lazienki-krolewskie.pl/en,Cultural-Poster---Jianping-He-and-U.G.-Sato.html>,
<https://www.facebook.com/events/766453450061359/>

【開催中】第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル【6月6日(金)～7月9日(水)】

クラクフにて、クラクフ歌劇場主催による『第18回夏クラクフ・オペラ・フェスティバル』が開催されます。7月9日18時半からは、歌舞伎役者の中村吉太郎氏による素浄瑠璃と歌舞伎舞踊の公演が行われます。

開催場所: クラクフ歌劇場, ul. Lubicz 48

詳細: <http://www.opera.krakow.pl/en/news/18th-summer-krakow-opera-festival>

【開催中】書道展【6月16日(月)～29日(日)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、第1回ポーランド書道コンクール応募作品の『書道展』を開催中です。

開催場所: ワルシャワ, 在ポーランド日本大使館広報文化センター, Al. Ujazdowskie 51

【開催中】第17回国際ギターフェスティバル【6月19日(木)～21日(土)】

トシエンサチにて、芸術団体「プレリユード」主催による『第17回国際ギターフェスティバル』が開催されます。19日20時から、日本の新堀ギターグループ「DANROK」による公演が行われます。

開催場所: トシエンサチ

詳細: <http://www.gitarowytrzesacz.pl/>

【開催中】武道ガラ【6月19日(木)～21日(土)】

ウヅジ市にて、スレイノモン基金、ウヅジ市スポーツセンター、ハンガク武道アカデミー共催による様々な武道のデモンストレーション『武道ガラ』が開催されます。

開催場所：ウツジ市, ul. Malachowskiego 5/7

詳細：<http://www.budogala2014.emce2.pl>

【予定】 チェルヴィオンカ・レシチニ市日本文化クラブ30周年記念行事【6月22日(日)】

チェルヴィオンカ・レシチニ市にて、同市日本文化クラブ主催による『チェルヴィオンカ・レシチニ市日本文化クラブ30周年記念行事』が開催され、琴の演奏やポスター展などが予定されています。

開催場所：チェルヴィオンカ・レシチニ, Centrum Kulturalno-Edukacyjne w Czerwionce-leszczynach, ul. 3 Maja 36A

詳細：<http://www.klub-kultury-japonskiej.pl/>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

（ご連絡は電子メールでお願いします。）